

岡山労働局発表  
令和5年4月27日

岡山労働局 労働基準部 健康安全課  
担当 健康安全課長 岸本英明  
健康安全課長補佐 妹尾直紀  
086-225-2013(直通)  
086-238-6216(夜間)

## 令和4年 労働災害発生状況(確定値)

死亡災害は前年から増加し12人

死傷災害は前年から微減 (新型コロナウイルス感染症を除く)

岡山労働局(局長 成毛 節)は、岡山県内における令和4年1月から12月の労働災害の発生状況を取りまとめました。その概要は以下のとおりです。

### 1 死亡災害発生状況 ( )は確定値の前年比。以下同じ。

**12人** (+5人)

業種別の内訳

建設業 3人 ( 2人)、製造業 3人 (+2人)、鉱業 1人(+1人)、運輸交通業 1人(+1人)、林業 1人(+1人)、保健衛生業 1人(+1人)、清掃・と畜業 1人(+1人)、その他の第三次産業 1人(±0人)

事故の型別の内訳

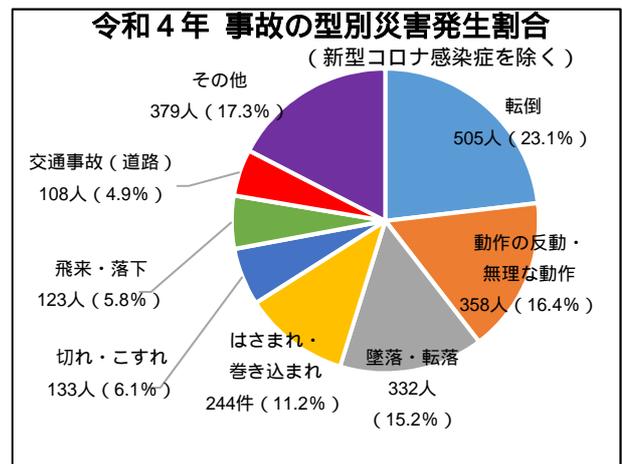
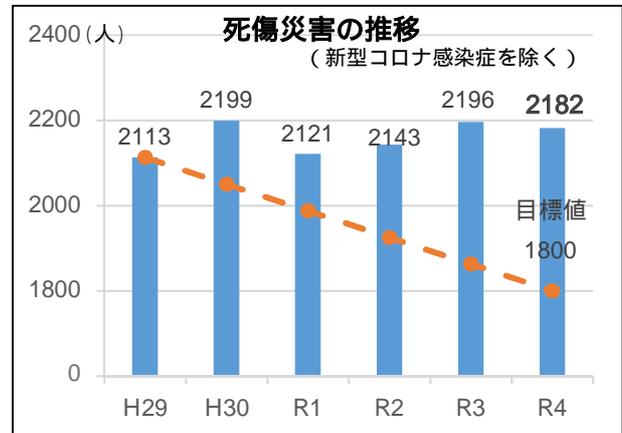
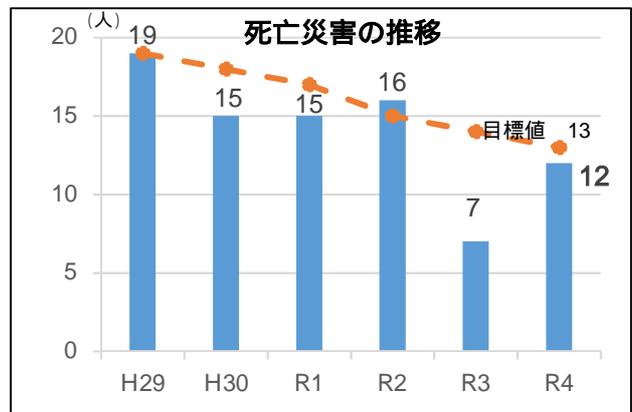
墜落・転落 2人(+2人)、崩壊・倒壊 2人(+2人)、激突され 2人(+1人)、はさまれ・巻き込まれ 2人(+2人)、感電 1人(±0人)、交通事故 2人(±0人)、その他 1人(±0人)、飛来・落下 0人( 2人)

### 2 死傷災害(休業4日以上)

**2,182人**

新型コロナウイルス感染症を除く事故の型別では、転倒 505人(+15人、+3.1%)が最も多く、腰痛など動作の反動・無理な動作 358人(17人、4.5%)、墜落・転落 332人( 57人、14.7%)、はさまれ・巻き込まれ 244人(+5人、+2.0%)、切れ・こすれ 133人( 5人、3.6%)、飛来・落下 123人( 2人、1.6%)、交通事故 108人( 12人、10.0%)などとなり、行動災害(転倒、動作の反動・無理な動作)が全体の4割を占めています。

なお、新型コロナウイルス感染症を含めた死傷災害は、6,412人(+3,911人)となります。



## 業種別の内訳

製造業:615人(+99人、+19.2%)

全業種の28.1%で最も多い割合です。事故の型別では、はさまれ・巻き込まれ147人(+25人)が23.9%、転倒111人(+16人)が18.0%を占めています。

道路貨物運送業:306人(20人、6.1%)

墜落・転落85人(15人)が27.8%、動作の反動・無理な動作53人(15人)が17.3%、転倒41人(7人)が13.4%を占めています。

建設業:255人(+20人、+8.5%)

墜落・転落73人(6人)が28.6%、転倒34人(+14人)、切れ・こすれ27人(+3人)が10.6%を占めています。

小売業:236人(+26人、+12.4%)

転倒84人(+21人)が35.6%、動作の反動・無理な動作33人(11人)が14.0%を占めています。

社会福祉施設:203人(10人、4.7%)

動作の反動・無理な動作83人(+10人)が40.9%、転倒61人(4人)が30.0%を占めています。

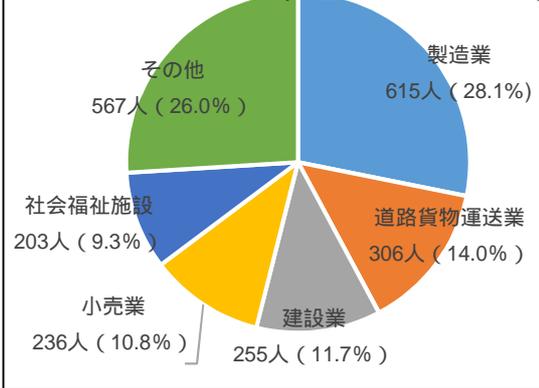
## 年齢別の内訳

死傷災害全体の565人(25.9%)が60歳以上でした。うち、転倒災害は217人(男性75人、女性142人)で、60歳以上の災害全体の38.0%を占めています。

50歳以上を含めると1129人となり、全体の51.8%を占めます。

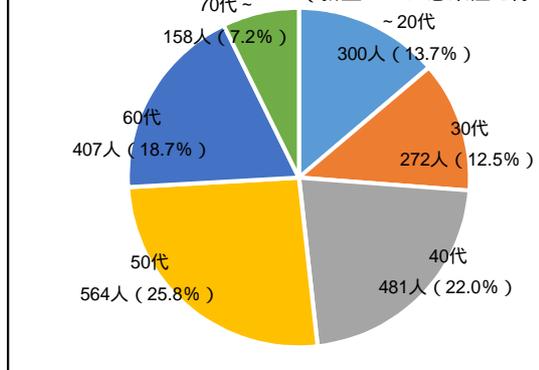
## 令和4年業種別災害発生状況

(新型コロナウイルス感染症を除く)



## 令和4年年齢別災害発生割合

(新型コロナウイルス感染症を除く)



## 3 今後の取り組み

今年度より、第14次労働災害防止推進計画がスタートしています。

新型コロナ等の感染症対策にも留意しつつ、災害発生率の高い「転倒」及び腰痛等の「動作の反動・無理な動作」など、職場における労働者の作業行動を起因とする労働災害対策のため、昨年度設立した+ Safe 協議会への県内主要企業の参画、協力を得て好事例を水平展開し、広報活動を推進します。

また、「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」等の災害対策やメンタルヘルス対策、過重労働対策等の取り組みも引き続き推進していきます。